令和６年度　下地小学校だより　第９号　令和６年７月１日（月）

そうふうPartⅡ 爽風

発行者：校長　下地美和子

学校教育目標
創造性にあふれた　心豊かでたくましく　生きる児童の育成

目指す児童像
・自ら学び考える子・思いやりのある子・健康でねばり強い子
・当たり前のことを一生懸命にやる子（凡事徹底）

★しんけんに　もちあじいかして　じぶんから　明るい心 未来へつながる 下地小

「第62回　じまんの家族図画・作文コンクール」　入賞おめでとう！！

６月２３日、琉球新報社主催の「第６２回 じまんの家族 図画・作文コンクール」の表彰式で４年の洲鎌光希さんが、作文の部で特賞、図画の部で優秀賞を受賞しました。また、たくさんのお友達も入賞しました。おめでとうございます！

以下、入賞者と、光希さんの特賞の作文です。

【作文の部】特賞：4年 洲鎌光希
【図画の部】優秀：4年 洲鎌光希
佳作：１年：多和田ひかる
３年：村吉美柚・上地珠月・川満瑠華・米村天童・友利愛海・新里緋奈子
４年：来間星南・饒平名喜子・友利海斗・丸田耕輔
入選：２年：すなかわにこ
３年：砂川春月・下地陽翔
４年：山里莉子・砂川優妃・中村栄美瑠・與那覇元幹
５年：平良陽奈音・川満愛喜・多和田旺盛・豊見山愛海・ルイス本田高正
６年：友利新太郎

【作文の部　特賞】
～沖縄ラジオで７／３　17:30放送予定～
「おじいとお父さんと一緒に」　洲鎌 光希

毎年夏になると、ぼくは楽しみにしていることがあります。それは、おじいが育てたマンゴーを食べることができるからです。

「マンゴー、おいしい！」と、僕が喜んで食べていると、おじいはにこにこ笑って、やさしい目でぼくのことを見ています。おじいの畑には、ビニールハウスが８棟あり、４種類のマンゴーを育てていて、他にも、さとうきびや季節の野菜、果物も作っています。農薬を使っていないので、キャベツの葉は、虫に食べれらていて穴があいていたり、トマトやナスは、表皮にきずがあったりしますが、「上等な野菜だね。」と、お母さんは喜んで料理に使います。

ぼくのおじいは、今年で８２歳になります。歩くときも、ご飯を食べるときも、運転するときも、何でもゆっくり動きます。ゆっくりながらもおじいは、毎日畑に通い、朝早くから日ぐれまで一生けんめいに畑仕事をがんばっています。ぼくが、畑のお手伝いをしているとき、「光希はえらいね。ありがとう。」と、ほめてくれます。ぼくが休けいをしていると、必ず、冷たいジュースをわたしてくれます。ぼくが休んでいる間も、おじいはゆっくり動きながら、ひとつひとつの作業をこなしていきます。おじいが作業をした後の畑は、いつもきらきら光って見えます。だから、おいしい野菜や果物が育つんだなと思いました。

休日になると、ぼくのお父さんはおじいの畑仕事を手伝います。平日は市役所で働くお父さん。せっかくのお休みなのに、朝早くから畑へ出かけていきます。「畑へ行くと、元気が出るよ。」と、お父さんは楽しそうに作業をしています。畑仕事はきつかったり、大変なことが多かったりするけれど、作物が育っていくのがとても嬉しいそうです。トラクターを運転したり、大きなふくろに入った肥料や、切り取った枝や刈り取った草を抱えるように運ぶお父さんは、とってもかっこいいです。

おじいの畑は、ご先祖様がのこしてくれた大切な畑だそうです。「畑で作物を育てることが、畑を守っていくことにつながるんだよ。」と、お父さんが話してくれました。畑では、力仕事はお父さんがやったり、作物を育てていくための知しきを、おじいがお父さんに教えていたり、おじいとお父さんは支えあって自分にできることを一生けんめいにがんばっています。

４年生になったぼくが、畑でできる仕事は、きっとたくさんあります。これからも、自分にできることを見つけて、一生けんめいお手伝いをして、おじいとお父さんと一緒に、たくさんの作物を育てていきたいです。

おじいとお父さんとぼく、そしてお母さんが、それぞれの出来ることで協力し合いながら、無農薬のいい農作物を育て、ご祖先の残してくれた大切な畑を守り受け継いでいく。一人一人が互いを思いやる素敵な家族、そして、おじいの勤勉さや家族を思う優しさは、しっかりお父さんや光希さんに受け継がれていますね。